

## 前期基本計画評価シート【第6章：自然環境】

施策大綱	自然と暮らしが共生する人にやさしいまち
概要	目標指標9項目に対し、達成したものは3項目(33%)※1件は確認不能

※達成→赤、未達成→青

節	目標指標	平成21年度末 実績値	平成27年度末 目標値	実績
1. 地球環境に配慮した地域づくり	①「循環型社会を意識した生活を送っている」と答えた市民の割合(%) ※「循環型社会を意識した生活」とは、日常生活の中で、廃食用油の回収・生ごみの堆肥化・資源物のリサイクルなどに協力し、資源を地域で循環利用することで環境負荷の低減につなげようとする生活。	新規	80%	70% ※「地球環境に配慮した行動をしている」と答えた市民の割合(市民満足度調査)
2. ごみの減量・資源化と適切な処理	①ごみの排出量(市民1人1日当たり)(g) ※市民全体のごみの排出抑制への取り組みを図る指標。(家庭系ごみ<可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ>の排出量/人口/365日)	626.9g	531g	593.17g
	②ごみの資源化量(市民1人1日当たり)(g) ※ごみの資源化の推進度合いを測る指標。(家庭系資源物排出量/人口/365日)	158.1g	187g	127.9g
3. 自然環境の保護とみどりの創出	①緑地・農地の保全・指定の面積(ha) ※公園や自然環境保全・農地保全のために指定された緑地又は地域で、平地林における緑の保全と市内にある公園・緑地等を適正に保ちつつ、田宮西近隣公園の整備や新たな開発行為によって増加する公園の面積を想定し、目標値とする。	1,093ha	1,100ha	1126.78ha
4. 水質汚濁の防止と水辺環境の保全	①小野川、稲荷川のBODに係る環境基準及び根古屋川の水質目標を達成する(mg/l)	小野川 1.9 稲荷川 1.6 根古屋川 0.9 以下を維持する	小野川 2.0 稲荷川 3.0 根古屋川 3.0 以下を維持する	小野川(大井橋)1.9 小野川(島田橋)1.6 稲荷川 1.4 根古屋川 1.4
	②下水道普及率(%) ※下水道普及率(処理区域内人口/市内総人口)は、本計画では着実な下水道整備により、年平均0.5%増を目指し、88%を目標値とする	85.5%	88.0%	87.20%
5. 自然と調和する生活環境づくり	①不法投棄件数(件)	267件	267件以下	149件
6. 生物多様性の確保と地域資源である里山の保全	①ボランティア活動が行われている平地林の箇所数(箇所) ※1 ボランティアが参加して、里山としての管理が実施されている平地林の箇所数。	5箇所	8箇所	4箇所
	②フクロウが繁殖活動を行っている箇所数(箇所) ※2 フクロウは、食物連鎖の頂点に存在し、良好な里山環境が保全されていることの指標となることから、その繁殖活動が行われている箇所数とした。	新規	現状値以上 (新規、現状値不明)	4箇所 (計画当時のまま現状値維持)